

日本脳神経外傷学会 認定指導医

受験資格

以下の①～⑥をすべて満たすものとします。

- ① 日本脳神経外傷学会認定専門医
 - ② 受験申請締め切り時点で、日本脳神経外傷学会に在籍5年度以上で会費を完納していること。
 - ③ 現在脳神経外傷診療に従事していること。
 - ④ 日本脳神経外傷学会で、3回以上筆頭演者として発表ないし講演していること。(共同演者の場合は1回の発表(講演)を0.5回分の発表(講演)として代用することができる)
 - ⑤ 査読制度のある学術雑誌に、脳神経外傷に関する原著論文あるいは症例報告が3編以上(共著でも可)掲載されていること。
 - ⑥ 症例経験
 - a) 脳神経外科専門医
 - 1) 頭部外傷の開頭術(うち、術者として8例)
 - 2) 頭部外傷患者の脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理*
 - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理(入院症例に限る)1), 2), 3) の合計80例以上(重複可)
 - b) 救急科専門医
 - 1) 頭部外傷を含む多発外傷患者の初期診療と脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理*
 - 2) 頭部外傷の開頭術(助手でも可)
 - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理(入院症例に限る)1), 2), 3) の合計80例以上(重複可)
- * ICP(髄液ドレナージからの測定含む), SjO₂, 脳波, 誘発電位(ABR, SEP, MEP, P300), Laser Doppler flowmetry, TCD, AVDO₂, rSO₂, NIRS, AVD glucose, AVD lactate, microdialysis, 血液・髄液マーカー, 頸静脈温, 脳実質温, 瞳孔反応測定等の少なくとも1項目目以上を行ったもの

選考方法

審査書類(申請書、脳神経外傷専門医認定書(コピー)、症例一覧)

更新条件(更新期間5年)

- 5年間に3回以上の学術総会出席
- 5年間に2回以上の脳神経外傷学会での発表(共同演者も可)または機関誌「神経外傷」での発表(共同著者も可)
- 5年間に3回以上の専門医指導医講習会出席